

2017春闘要求を提出

本部は2月17日、申第5号「2017年度賃金改定に関する申し入れ」を経営側に提出しました。

国鉄改革を経て、JR東日本が発足してから間もなく30年を迎えます。この間、すべてのJR労働者は新しい鉄道に対する人々の期待を一心に背負い、その期待に応えるべく日夜たゆまぬ努力を続けてきました。そして、発足時の指針に謳った「黒字経営」を実現させるとともに、幾多の自然災害や経済危機を乗り越え、JR東日本グループを今や日本を代表する企業グループへと成長させてきたのです。



JR労働者の努力は今日の右肩上がりの成長を実現させ、1月30日に発表された「2016年度第3四半期決算」も連結、単体決算ともに営業収益で5期連続の増収、かつ四半期純利益では過去最高を示しました。これらの成果は、日々の安全・安定輸送と鉄道ネットワークの拡充を担い「のったのしい列車」をはじめとするさまざまな旅行商品のセールスを担うことで「選ばれる鉄道」を育て上げたすべてのJR労働者の努力の結果に他なりません。

しかし、グループの成長を今日まで担ったJR労働者の「生活の成長」は、未だ実現をしていません。生鮮食料品の高止まりをはじめ、増加の一途を辿る税金や社会保険料、住環境制度の改正等による家計負担の増加は3年連続のベースアップを経ても補えきれず、先行きの見通せない日々の生活に対する不安感は増大しています。

グループの成長を担うJR労働者の「労働力の価値」に相応しい賃金を支払い、生活の成長を通した働き甲斐を創出することは、JR東日本グループが未来にむけて発展し続けるための必須の条件であると言えます。

職場からの取り組みを通じてJR労働者の力を結集し、社員一律6,000円のベースアップを基軸とした賃金引き上げを勝ちとりましょう！

【賃金改定要求】

1. 基本給ならびに初任給を、社員一律6,000円引き上げること。
2. 定期昇給を実施すること。昇給係数は4係数とすること。
3. 「エルダー社員就業規則」を改め、社員に準じて賃金を引き上げること。
4. 「グリーンスタッフ就業規則」を改め、社員に準じて賃金を引き上げること。

オールJR労働者の力で賃上げを勝ちとろう！